

県立座間養護学校「防災フェスティバル」見学

開催日時：令和元年7月25日（木）9：30～12：30

個人の専有エリア（生活場所）の確保。
間仕切り板（樹脂製）シート付 幅：1m
タテに2枚つないで使用。
ドアも付けられる。



今年度より市自連が座間市地域自立支援協議会の防災対策部会に出席することになり、部会の中で県立座間養護学校の防災フェスティバルを紹介され、見学しました。

養護学校は福祉避難所に指定されており、フェスティバルの内容は、養護学校職員による防災研修でした。

研修はA 食事、B 応急訓練、C 排泄、D 生活、E 医療ケアの5班に分かれて実施。地域住民と保護者は5箇所を見て回りました。

避難者が養護学校の生徒なので車椅子での移動を考慮した通路の確保と保管場所、車椅子への乗り降りの介助など一般の避難者よりも条件が多く大変さが分かりました。また医療的なケアが必要な生徒がおり、病院のような処置をしなければならない事も分かりました。

今回のことから、発災時に一次避難所に避難した避難行動要支援者に対して、一人一人に合わせた対応が必要なことがよく理解できました。

乾パンを油で炒めると温かい食べ物になり美味しくいただけました。
調理時は感染予防のため、手袋を使用する。



避難所ではキズの出血止めの処置が出来るように訓練。
薬品のストックは必要。

